



<b>安原のいま</b>	総人口 4,560人 (前年比-7人) 【男 2,229人 女 2,331人】 安原地区公民館 〒390-0802 松本市旭2-11-13 TEL 0263-39-0701
--------------	---

## 特集 コロナ禍にも変わらぬ！ 地域ボランティアの活動と役割

新型コロナ感染症が地球上に蔓延し始めてから2年です。令和4年の幕開けは第6波のオミクロン株、松本市の一日の感染者数が1000人を超える日も幾度となくありました。今回、市民活動が制限される中でも、住民の日常を守るために尽力される地域の団体の皆さんを紹介いたします。

いろいろな異なる成り立ちの5団体にいくつかの質問に答えていただきました。

いずれの団体も、健康な地域づくりのために日々努力をされています。コロナ禍の影響や、どのような業務なのか、教えてもらいましょう。

### 見守り・つなぎ 安全で安心の安原を作る

◆安原地区民生委員・児童委員協議会の会長・草深邦子さんは「直接訪問の機会は減り、電話での訪問が多くなりました」とされ「ゆっくりにお話を聞くことができず、生活状況の把握がしにくくなっている」と現在の活動状況を分析し心配しています。

★活動と役割 住民の身近

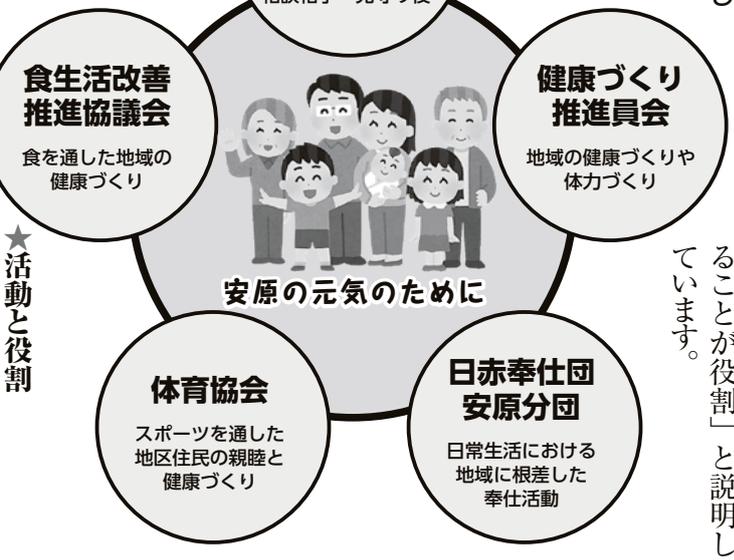
な相談相手・見守り役として積極的な訪問活動により信頼関係を築くこと。関係する行政や専門機関へのつなぎ役となること。地域のより幅広い関係者と連携し、協力し、民生・児童委員は地域づくりの一員になります。

普通に暮らす日々の中でも、現代社会は人間関係が希薄になりがちです。孤立し孤独にならないように気を配ります。地道な継続を必要とする業務です。

安全で安心して生活できる安原地区の環境づくりの一端を担っています。

### 食を通して 健やかな 毎日

◆食生活改善推進協議会会長・新實久美さんは、「料理講習会は様変わり、講習人数は半分、実習後の試食会（感想・反省会も）できず、開催回数も半減し残念」と述べています。



### 地域の方と楽しく交流

◆健康づくり推進員会会長・安坂紀子さん

★活動と役割

「研修会や学習会の機会は減ってしまっただけで、健康づくりを意識し体力づくりを努め周囲の人に情報発信することが役割」と説明しています。

### ★活動と役割

「地域の住民向けの料理教室を計画・開催、また健康づくりの講習会も開催。食を通して、骨粗鬆症・高血圧・フレイルなどの予防もできることを知ってほしい」と話していました。

◎「地域の皆さんに健康診断受診を勧め、体力の維持に努め元気に地域の皆さんと交流することが楽しいです」と答えてくれました。目指すは、自助・公助のバランスの取れた地域づくりです。

すべての人々の幸せを願う  
かげの力となって奉仕する

◆日赤奉仕団安原分団団長・米山美由紀さんは、奉仕団を知らない人が多い、と次代の担い手不足を心配しています。

★活動 災害時の炊き出し・義援金の募集。乳児院のボランティア（月1回）。救急法などの研修。ふれあい健康教室。

◎ボランティアの草分け的存在でもある奉仕団には「身近な奉仕を広げ、すべての人と手をつないで世界平和をつくる」などの信条があります。

地域住民の親睦と健康づくり

◆体育協会・事務局長・築野雅則さん

「幾つか大会が中止にもなりました。マレットゴルフ・ボウリング大会年各2回、球技大会に出席などを計画している。課題は、大会参加者の高齢化・固定化の心配。新しい・若い参加者をいかに増やすか、開催の通知・案内方法・告知手段を検討したい」と話しています。

退任のごあいさつ



安原地区地域づくりセンター長 田村 明彦

この3月末で定年退職を迎えることとなりました。

一年間という短い期間の中非力な私でしたが、地域の皆様には大変お世話になりました。

安原地区は地域づくりを推進するため、平成19年に他地区に先駆け「安原地区まちづくり協議会」を設立し、健康づくりや文化事業などに取り組んできました。

残念ながら今年度も新型コロナウイルスの影響で、地域の様々な行事が中止となりました。

しかし、12月に開催したウォークラリーでは、安原地区の強い団結力・地域力を垣間見た気がします。

市役所生活最後の年に、温かい皆様方と一緒に仕事ができ、大変光栄でした。

まつもと文化遺産の認定を受け、市内屈指の文教地区、そして人間力が魅力である安原地区の益々のご発展を、心から願っております。

みんなで書こう！  
～書初めの会～

1月5日、安原地区福祉ひろばを会場に、「書初めの会」が開催されました。家庭で書初めの宿題をやるのは大変、という職員の実感から発案され、昨年に引き続き2回目の企画です。

福祉ひろばの一般向け書道サークルの講師を務める齋川令子先生と、生徒の中田由子さんの指導を受け、地区の小中学生4人が参加しました。

最初に齋川先生から「用紙の中心、上下、両端を字数に応じて折り、文字のどこが中心かを頭に入れて書きましよう。名前は太く堂々と書きま



書道用紙の折り方を教わります



作品を添削する齋川先生

「助け合い」を選び、齋川先生にお手本を書いてもらいます。参加者全員が先生の周りに集まって見守り、書き上がると拍手が起きました。



熱心に作品に取り組む児童

いちよう並木

エゴノキ・どんな木

庭木や公園樹に構成木として植えられています。5〜6月頃、小枝の先に垂れ下がり群れて、房状に咲く白い花は風情があり、雑木林の中で涼を感じます。

エゴノキ科、エゴノキ属の



庭に一本欲しい木

落葉小高木で、果実は卵形か楕円形。10月頃熟し果皮が裂け褐色の種子があらわれます。それをヤマガラなどの小鳥がついばみ、お腹を通した未消化の種が糞と一緒に落ち、思わぬ場所で発芽をします。

若い果皮には毒があり、すりつぶして川に流すと魚は麻痺して浮き上がり捕らえることができます。

名前の由来は有毒な果皮を口にすると喉が刺激を受け、えぐみを感じるところからエゴノキの名がつけられました。

日当たりが良く適度に湿り気のある場所を好み、用土は選びません。繁殖は実生。萌芽力は旺盛ですが、剪定は弱めに自然形で育てます。

白花のほか淡い桃色花もあります。